

第 10 号

平成13年12月1日

○発行

鳥取市立川町5丁目417番地

鳥取子ども学園後援会

電話 (0857)22-4206

○振込口座

郵便振替 01490-9-9106

題字 尾崎悌之助

鳥取子ども学園 学園だより



メリークリスマス!

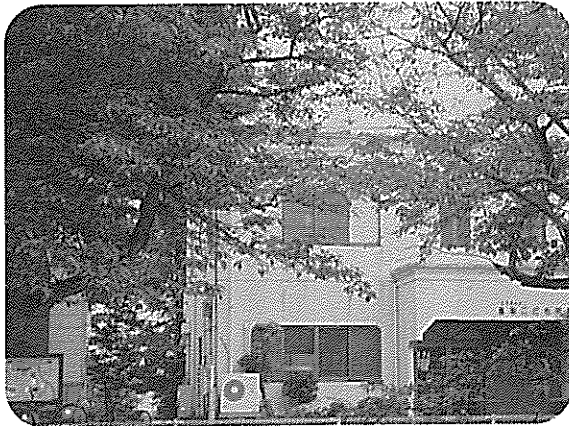
「いと高きところには栄光、神にあれ。
地には平和、御心に適う人にあれ。」

ルカによる福音書・二二一四

鳥取子ども学園長 藤野興一

その事務局を担い、中心的役割を果たしています。

二〇〇一年、クリスマスおめでとう!
「平和を、人間の尊厳を、」と祈らずにはおれないこの頃ですが、「神は愛である」「愛は絶えることがない」という御言葉を信じ、イエス様の御降誕を共に喜びたいと思います。



鳥取子ども学園

昨年三月四日、「児童虐待防止ネットワーク鳥取(CAPTA)」が結成され、わが園は

結成直後から、米子市での乳児虐待死事件や倉吉市で児相が児童通告を受けながら転居した国府町で幼児虐待死事件に至った、二つの事件をはじめとする深刻な事態がつきつきとおこり、対応に追われました。
十一月二十日、児童虐待防止法が施行され、通告、相談、緊急一時保護などが激増し、その受け皿である児童相談所や児童養護施設は、たちまちパンク状態に陥ったのでした。
「児童虐待防止法」は、通告や緊急介入の「入口・間口」は広げたが、その「受け皿」としての児童福祉施設には手をつけず、不十分な体制のまま、被虐待児がどんどん送りこまれ、児童福祉施設の数多くは「野戦病院」のような状態を呈しています。
鳥取子ども学園は、自立援助ホームを創設し、児童養護施設に情短施設を併設し、幼児の集団養護を廃止して、常に献身的・先駆的に時代に対応してきたと自負しています。

このわが園でさえ、昨年の虐待防止法施行以降、被虐待幼児の入所が激増し、どのホームにも三、四人の幼児を抱え、朝夕二人の職員配置ができず、夕食時から就寝まで、一人の職員で八、十名の子どもをみているのがほとんどで、悲惨な実態と言わざるを得ません。

全国の大勢を占める大舎制のある児童養護施設では、二十六人の幼児の集団養護がおこなわれ、夜九時以降六十名の子ども(幼児二十六名も含めて)をたった二人の職員でみているといった実態です。

私たちは、かかる「人権侵害」とも言える状況の打破を訴え続けています。

「現在の国の職員配置基準は、施設入所児童の人権を侵害するものであり、改正をもとめる」と。ご支援を賜りたい。

現行の職員配置基準は、三才未満児：1、幼児4：1、学童6：1となつています。それだけ配置されれば、充分と思われながらも知れませんが、一年三六五日休みなので、一日二四時間交代なしで働いて2、4、6：1だということです。実際には前述のような悲惨な職員配置しか出来ない基準なのです。

被虐待によって「安心」と「自信」と「自由」を奪われ、「愛着障害」「ADHD」「反抗挑戦性障害」「行為障害」などと呼ばれる傾向を持った子どもたちに「安心」と「自信」と「自由」を取り戻すことが、求められているのです。

施設に入れれば済む訳ではないのです。

法人本部

創立百周年記念事業

希望館「教育・治療棟」着工

計画を進めてきた鳥取こども学園希望館の「教育・治療棟」の建築工事起工式が、県・市・学校、工事、学園など、多数の関係者の列席のもと、九月二十一日に行われた。

この事業は、五年後の鳥取こども学園の創立百周年を記念する事業の一環で、昨年の六月以降、片山県知事をはじめ、鳥取市長、県・市教育長など、関係者に趣旨を説明し、協力をお願いしたところ、県・市より補助金一、八三〇万円、県・市教委より備品補助金五九三万円がいただけることになった。また、十月に日本財団に補助金の申請をしたところ、多くの関係者のご理解ご支援により、七、三二〇万円という多額の助成金が決定し、この事業が実現した。ご協力いただいた皆様に、心より感謝します。

建築工事は、鉄骨二階建て延べ五六四平方m、総事業費一億二千万円、設計・監理は赤山建築設計事務所、施工は(株)興洋工務店、竣工は平成十四年二月末である。この教育・治療棟の完成によって、現在、敷地内施設に分散している小・中・高の教室や職員室が、一か所にまとめられ、教育・治療機能の拡充と効果的利用が期待される。

主な部屋・設備は、一階は職員室、館長室、カウンセリング室、観察・編集室、プレイルーム、集団療法室・集会室(一〇〇人収容)など。二階は小・中学校教室(三)、調理実習室、パティオ(フリースペース)、静養室、図書・学習室、教室・教材庫、シャワールームなどである。

建物は、全体に教育及び治療が一層充実するよう工夫するとともに、玄関ホールは吹き抜け、階段おどり場の壁面に十字架様のブロックガラス、明り通りの三角屋根を設けるなど、ユニークで感性豊かなものに仕上がる予定。なお、付帯工事として、旧「しらゆり」の建物を解体し、その周辺を新たに駐車場として整備した。情短施設「希望館」は、不登校の子どものケアと家族などへの援助を行ってきたが、最近が増加する虐待ケースの親子のケアにも努めている。これらの活動の館として、教育・治療棟が、立派に完成することを祈っている。



H13.9.21 起工式

ボランティア紹介

今回は、学園を支えてくださっているボランティアの方々を紹介いたします。

団体

《鳥取学生赤十字奉仕団》

大学、看護学校(日赤病院・県立中央病院)の学生によるボランティアサークルで、昭和四十二年より活動。

私たち学生奉仕団は、現在約五〇名で毎週火曜日の六時三〇分から七時三〇分までの一時間こども学園のこども達に学習指導などを行っています。なるべく、団員とこどもが一対一で接し、より良い学習指導ができるように、又、こどもがなんでも相談できるような環境をつくって活動しています。一時間という短い時間ですが、毎回楽しくこども達と接していて、充実した一時間を過ごせていると感じています。(サークル長・近藤)

《鳥取教会シオン会》

鳥取教会の有志の婦人が、昭和五十四年より、月一回の膳い・製作奉仕。今年、鳥取県社会福祉協議会会長特別表彰を受けられました。

《学習ボランティア》

鳥取大学の学生有志が、毎週月曜日と木曜日の夜、中学生の学習指導奉仕。《鳥取いなばライオンズクラブ》

昭和四十七年よりもちつき奉仕。

《中央ライオンズクラブ》

こども達との交流行事

《鳥取ライオンズクラブ》

平成三年より児童との卓球大会。

《ローターアクトクラブ》

今年初めて、スポーツ交流会。

個人

《内田 慶子》

今年六月より、月、水、金の午前中に幼児園内保育補助奉仕。

《尾崎嘉代子》

今年七月より、火、木の半日、幼児園内保育補助奉仕。

《岩谷 勝三》

今年七月より、週一〜二回のペースで園内の植木の剪定、草取り、整備奉仕。

子供に思う 内田慶子

こども学園を訪ねて、五ヶ月過ぎた。私は、大家族の末っ子です。まだ、物質の不足の幼年時代でありましたが、何も不足(?)なく育てられたように感じます。就職した時が小児病棟でした。それ以来、何度か病棟は変わり合いました。その中でいろいろな人々に巡り会い、周りには絶えずこども達もいました。年老いて自分に余力があれば再びこども達の中で過ごしてみたいと思っていました。そういう思いの中で自分を認めてもらえる所を求めて訪問し、現在に至っています。少しでも、なかよし園のこども達に認めてもらえたら時間がある限り続けていきたいと思っています。

児童養護施設

鳥取子ども学園

子ども学園は、現在ほぼ満員状態です。今年度は、たてつづけにほとんど幼児ばかりの入所で、このホームも毎日の生活に追われています。そんな中で、子どもたちの声を紹介します。

城崎マリン

ワールドに行つて

小学生 N・T

八月二十二日、さくらホームの人と車で城崎マリンワールドに行きました。最初に、水そうに入った、カニや、ヒトデなど見ました。ヒトデは、水そうにくっついていました。カニは、いろいろな種類がありました。次にペンギンの散歩を見ました。ペンギンもいろいろな種類があつて、一種類のペンギンが散歩してました。次に、イルカショーを見ました。イルカがすごい高いジャンプをしてたのです。私には、日々、訓練してきて、あそこまでできるとは思いませんでした。魚、イルカは、人のできないことをやれるなんていいなと思いましたが、私もできれば、イルカや魚みたいになりたい。こうしているうちに、時間が過ぎていきました。でも、わたしにとつて

楽しい思い出になりました。また、こういつきかいがあればまた、行きたいです。



高校生活

高校生 M・T

高校生活も卒業まで三ヶ月となつた。今、家庭、家族のあり方について真正面から考える機会を得た。家庭崩壊という苦難の連続は、現在も避けて通ることのできない現実で、心の傷として残る一面でもある。

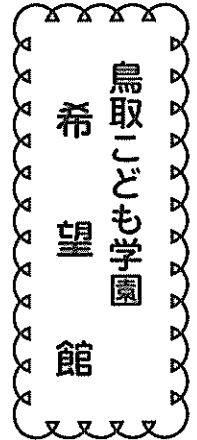
「行け」と言われて行った高校は、充実は薄く、家庭通学も苦しいものがあった。私は、英語ができる訳ではないが好きであり、是非勉強をしたいと考え、学

校に相談して、県立高校の英語科に再受験した。夢への再挑戦であつた。一年間の遅れは、緊張と不安の連続。でも、友達に恵まれ吹き飛んだ。部活では、的に一直線に飛ぶアーチェリー部を選び、全国でも名門校であるとの単純な理由で入部。本当にのめり込んでしまった。この一年間で、色々な事を部活によって乗り越えることができ、この感動は他人にわからないくらい実感できることを知った。二年になる時、自分を見つめ直す良い機会と考え、伯父に頼み、自ら児童養護施設に入所する道を選ぶことにした。学校で、オーストラリア英語研修に行った時、温かく迎えてくださった現地の方々のおかげで益々英語が好きになった。そして、三年生。施設生活での他人との生活は気配りの連続で食事が喉を通らないことも。また、この頃から、進学が現実みをおび、気が焦る。この中であつて、学園の先生方には本当に良くしていただいた。その一つは話し相手であり、自分がそこに居るといふ存在感の実感であつた。私は是非この生活体験を今後につなぎ、生かしたい。社会福祉士の受験資格を取る為に、短大に進学を考える。この夢の実現により、心豊かな私が育ち、この体験が将来の私にとつて素晴らしいものとなる事を確信。周りの人たちが「こんなに素晴らしいものだ」とわかつた日からまた浅いが、色々な勉強がしたい。

行事

(学園関係)

- 6月17日 中央ライオンズいもほり招待
- 7月20日 ポップサーカス鳥取公演招待
(南限特設会場)
- 24、26日 鳥取県児童養護施設合同
キャンプ(砂丘こどもの国)
- 30日 鳥取県児童入所施設球技大会
(布施)
- 8月2、4日 鳥取県学生赤十字奉仕団
キャンプ(小沢見海水浴場)
- 9、10日 希望館キャンプ(兵庫県・
宍和野高原野外教育センター)
- 14日 OB焼肉交流会
- 26日 劇団飛行船・マスクミュージ
カル「三びきのこぶた」招待
(鳥取市民会館)
- 28日 里親交流会岡山フアーマーズ・
マーケットノーススイレッジ)
- 9月28日 希望館通所部門・ミニミニ運
動会
- 29日 鳥取県声合囃団定期演奏会招
待(梨花ホール)
- 10月7、8日 高校生体験旅行①(1名)
大阪
- 13、14日 里親交流会(氷ノ山)
- 21日 ローターアクトクラブ主催・
交流スポーツ大会
- 24日 四施設合同防災訓練



希望館には、現在二九名が入所し、一名が通所しています。今回は、入所している高校生の作文を紹介いたします。

進学への抱負

T W O N

高校三年生の僕は、進路を進学にしました。進学する学校は、ペットグルーミングコースのある東京の専門学校に決めました。

僕は小さい頃から動物が大好きでした。家では、犬、猫、うさぎ、ハムスター、



キャンプへ、いよいよ出発だ!!

ニワトリ、亀など、他にもたくさん動物を飼って来ました。犬や猫は、全部が捨てられていたのを拾ってきて飼っていました。そのうちに増え過ぎて困ってしまったこともあります。

僕が学校に行くのが嫌で家にいた時や嫌なことがあった時などに、いろいろな面で、飼っていた動物たちに助けってもらった気がしています。そんな大好きな動物の仕事に就きたい、トリマーになりたいと思いい、この学校に行くことを決意しました。

この学校に行ったら、たくさん勉強し、たくさんの人と交流を深め、親やよくしてくれた学園の先生や園長先生の期待を裏切らないように頑張っていきたいと思っています。

そして、将来は、自分のお店を持ちたいと思っています。

高校生体験

旅行を通して

高校生女子

私たちの施設には高校生体験旅行があります。この旅行は、旅行を希望する高校生が目的や行き先を先生に出し、その中から選ばれた高校生が旅行できるものです。私は友達と2人で、島根県の隠岐の島に行く希望を出し、見事に選ばれ、十月二十七日から二十九日の二泊三日で旅行をしました。

初日の二十七日はとてもいい天気でした。汽車や船に乗る時はとても緊張したけど、乗っている時は前夜からの睡眠不足もあって二人ともすぐに眠っていました。隠岐に到着してからは、おみやげを買ったり、観光をしたりしました。夜は、疲れたせいか八時には寝てしまいました。

二日目の二十八日は強風と雨でした。船で観光する予定だったので船が動くの心配で、船の会社に電話をしました。電話になると大人の世界になる気がして、私の話が伝わるかどうか心配でしたが、はっきりと言えたので、聞いてみて良かったです。でも、船は動かなく、代わりにバスでの観光になりました。バスには、

私たち以外に、夫婦のお客さん、運転手さん、バスガイドさんが乗っておられ、とても楽しい観光が出来ました。優しく声をかけて下さり、とても感動しました。「いつまでも元気でいて下さいね。」と心から思えるくらいの大きな感動が残りました。

最終日の二十九日は曇り空でした。境港や米子などで買い物を楽しみ、夜には無事に学園に帰ってくる事ができ、本当に良かったです。

今回の体験旅行を通して、私は貴重な体験ができ、いろいろなことを学ぶ機会になりました。これからもこういった機会があれば、ぜひ参加したいと思いました。

10月26日 希望館通所部門・秋の遠足 (安徳の里)

27日 児童ふれあいのつどい (砂丘こどもの国)

27、29日 高校生体験旅行② (2名) 隠岐の島

11月10日 鳥取県児童養護施設調理実習 (倉吉市・伯耆しあわせの郷)

18日 鳥取シンフォニック・ウィンド定期演奏会招待 (鳥取市民会館)

23日 鳥取学生赤十字奉仕団主催・第34回ミュージックフェスティバル

〔みどり園関係〕

6月1日 鳥取市金婚式アトラクションに出演 (年長児)

3日 鳥取みどり園バザー

14日 子育て支援センター「育児講座」講師 鳥取市心理相談員 田丸尚美

17日 私立保育園保護者会連合行事 (ソフトバレーボール大会)

26、28日 参観日

7月1日 鳥取市保育所児童文化祭

6日 七夕まつり

11日 プール開き

13日 「六歳臼歯健康講座」講師 今田歯科医院長 今田哲哉

16、18日 個別懇談会

24日 卒園生のつどい

保育所 みどり園

子ども達は、ここ数カ月の間めまぐるしい程、大きな行事を経験してきました。思えば年齢差こそあれ、よくがんばったと思います。こうして行事を乗り越える度に、子ども達の姿から「やれた」「できた」という満足感、「やればできる」という自信そして次も「やってみよう」とする意欲がみられるようになりました。一人一人生活をみていると、たくましくなり、のびのびと活動し、いろいろな面で大きく成長したなあと感じています。

子ども時代に、友だちと一緒に遊びながら実体験を豊かにすることは、生きる力が身につくことだと考えています。世の中全体がコンピュータ社会になって、直接人と関わりがなくても、仕事も家庭の中の日常生活も、用が足りるようになってきました。

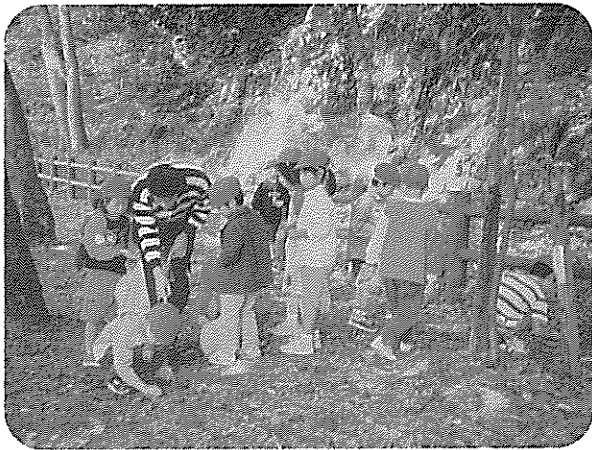
しかし「人が生きる」ことは、一人では生きられません。いろいろな人との関わりの中で、葛藤しながらお互いを尊重し合い、助け合っていくことが人間として生きる生き方だと思えます。

私たちは、人生の基盤である乳幼児期の保育に携わっていますが、何を伝えていったらいいのでしょうか。私たち保育

者は、子どもの心に寄り添いながら、しっかりと向き合って、「私は愛されている」という実感がもてる子どもであってほしいと願っています。表面だけの言動を流して過ごすのではなく、相手としっかりと向き合うこと...そこから、信頼と安心の関係につながっていくのではないのでしょうか。

人と人が生き合つことの意味は、信頼関係にあると思います。

これからも、子ども達一人一人が輝いて遊び、生活する環境構成は？職員も喜びをもって仕事をするためには？、地域のニーズは？など、子どもを真ん中にして、職員みんなで考え、取り組んでいきたいと思えます。
(園長 入江一枝)



職場体験学習での交流

山本恵子

鳥取みどり園では、地域の中学校から要請を受け、今年初めて二年生を対象とする職場体験学習の場として、10/1から10/5の間、保育士を目ざしている生徒さんを含む五名を受け入れました。園では、運動会が雨天の為延期となり、毎日練習で到着かない時で、双方ともさこちない対面でした。そのうち、子どもの方より傍によって話しかけたり、「おにいちゃんいい！」と言って抱っこやおんぶ、更に肩車などを要求し、子ども達は一杯甘えていました。元気な子ども達を相手に、きつと心身共に疲れ、「こんなはずではなかった」と思われたのではないかと気になりました。しかし、日がたつにつれ、表情も明るく絵本を読んだり追いかけてこする等、楽しそうに遊ぶ姿が見られ、ホッとしました。あわただしくしている中で職場体験学習は、生徒さんにとってどう映ったのでしょうか。

〈体験学習を終えて「ワクワクひがし新聞」より感想の一部をここに掲載します〉

この体験で学んだことは、保育士には体力が必要ってことです。体力がないとやっていけないことが、よくわかりました。感じたことは、子ども達を思うことの思いやりが先生達から感じられました。思いやりは大事ってことがわかりました。

8月4日 納涼祭(保護者会主催)

21日 子育て支援センター「育児講座」講師 鳥取みどり園栄養士 山本真由美

22日 星をみる会(佐治アストロパーク 年長児)

24日 プール納め

9月12日 おじいちゃん・おばあちゃんとのふれあいのつどい(交通安全教室も行)

15日 修立地区敬老会アトラクションに出演(年長児)

23日 仕事会(保護者会主催)

10月1~5日 鳥取東中学校「ワクワクひがし」職場体験学習 4名来園

7日 運動会

9~11月2日 保育実習(鳥取東高2年(10日間)生全員398名)

12日 伝承あそび

21日 私立保育園保護者会連合行事(於とっとり出合いの森)

24~25日 鳥取県保育所職員乳児保育実習園として保育士4名来園

26日 徒歩遠足(子どものみ)

3才児・4才児:おおち谷公園 5才児:久松公園・久松山(二の丸)

28日 子育てセミナー(鳥取市主催)

11月4日 第27回鳥取県私立保育園振興大会(於県民ふれあい会館)

21日 感謝祭&もちつき

家庭支援センター 希望館

「ビッピー、ビッピー、ビッピー！」

その夜、電話当番だった私の携帯電話が突然けたたましく鳴り響きました。時間は深夜〇時三〇分頃、すでに半分夢の中にいた私はびっくりして飛び起きました。あわてて電話を手に取り、深呼吸を一つして受話器を耳に当てました。

「はい、家庭支援センターです。」

「あの……いいですか?。」

相手の声は低く、とても苦しそうな印象を受けました。最初はたどたどしく、自分でも何からどう話せばいいのかわからないというかんじの話し方だったお母さんでしたが、除々に声が大きくなり、次から次へと堰を切ったように話し始められました。自分の今の苦しい状況、夫への不満、子どもに八つ当たりしてしまう辛さ……。ひとしきり胸の中の思いを打ち明けられると、お母さんの声は段々と落ち着いて、余裕さえ伺えるようになってきました。そして最後に「どうもありがとうございました。さようなら。」と言って、お母さんは電話をお切りになりました。私は

というところ、ただただ相槌を打っている間に、嵐のように過ぎ去っていった突然の相談電話に半ば呆然としながら受話器を置きました。

翌日出動した私は、前夜の相談の話をセンターのみんなにしました。このお母さんに限らず、家庭支援センターに電話をかけてこられるお母さんの多くに感じられるのは、周囲に話し相手がいないということだと思います。とても孤独で、切ない思いを募らせて、無我夢中で誰かに話さずにはいられないのだらうと思います。確かに技術的な相談なら、それに対応した具体的な返答をすることも可能です。しかし、それよりもお母さん自身の迷いや不安といった『思い』そのものを吐露することによって、落ち着きを取り戻される方が多いように思います。

支援センターが開設されて二年。お母さん方の切ない訴えを聞き、相談を受けた私たちもまた同じように考え、悩みながら今日までやってきました。お母さん方の思いを真摯に受け止めながら、それを支えていくことができるよう、支援センター自体も日々成長して行きたいと思えます。



自立援助ホーム 鳥取フレンド

平成十三年度は、在籍十二名でスタートしました。現在アパート自立した人も含めて十一名の在籍です。

過去最悪の失業率を更新している近頃、その波は、ここにも大きく影響しています。それぞれの事情によるものもありますが、雇用条件がきびしくなり、職親さんのような存在は、あまりありません。

縁故関係から、なんとか働かせていただく場合も減ってきています。仕事を探す方も、「こんな仕事につきたい」というよりは、少しでも時給、日給の多いところとか、休日が多いところ、拘束時間の少ないところ、と自分勝手に無責任な探し方をしてしまいます。本当なら、「仕事ってというのは……」と難しい言い方ではなくてもちゃんと説明していかなくてはいけないと思うのですが、できていない現状があります。「生活するのには、こんなにお金がかかるんだよ。」とか「携帯電話の料金をはらわなくてはいけないし……」とか、そういう言い方になってしまいます。いきなり借金返済から始まる場合もあります。現金収入が必要だという追った事情はあるけれど、やはり、長い目でみれば、本当の意味で自分に合った職をもつことが、自立への近道なのではないかと、近頃、特にそうおもいます。そういう職場に本人らが出会えるように応援してゆきたいと思えます。

【仲間のひとこと】
私は、フレンドに来て、一年がすぎました。他県から来た私は、鳥取にもなれず、友達もいなくて働いていただけでした。でも、少しずつ友達ができました。友達ができただけではなく、逆に仕事をサボるようになったり、夜遊びをしたりして、ほとんど毎日、寮母さんとケンをしました。頭ではわかってはいるんだけど、行動に出せずにいます。今だにプー太郎だけど、ちゃんと働いて、少しずつお金をためて自立していきたいと思えます。

by Reo



● 鳥取県児童養護施設協議会「あしながおじさんの会」への参加のお願い ●

県内の児童養護施設と情緒障害児短期治療施設で組織する本協議会は、大学や専門学校へ進学する子どもへの学資援助を目的に、1987年に「あしながおじさんの会」を発足しました。これまでの寄付額は600万円を越え、17名の子どもに学資援助を行ってきました。

進学した子どもはアルバイトをしますが、生活をするのが精一杯の状態です。民間の奨学金制度も利用し、また、県からも一時金の形で進学補助金が支給されます。しかし、それでも卒業までの学資保障には至りません。学資不足から進路の変更や断念をすることがないように、学資援助を行いたいと考えています。

つきましては、この主旨をおくみいただきまして、ご参加いただければ幸いに存じます。

● 会員の種類

- A 月額1口 1,000円
- B 年額1口 10,000円
- C 一時カンパ (いくらでも結構です)

● お申込みの方法

- 名義 鳥取県児童養護施設協議会あしながおじさんの会
- 口座 郵便振替 01490-3-18497
- 鳥取銀行本店 普通 1430161
- 山陰合同銀行鳥取営業部 普通 3396627
- 鳥取信用金庫鳥取東支店 普通 100871

当学園事業へのご寄付
後援会へのご加入に
感謝申し上げます。

前回報告以降、現在まで、ご寄付いただいた方々、及び後援会に賛同(会費納入)していただいた方々は下記のとおりです。心より感謝し、ご報告申し上げます。

寄 付 者 (2001.6.1~11.30)

(敬称略)

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
秋山正弘	川中修一 法律事務所	田中耕自	巻田豊
浅井慶紀	菊池トシ	田中佳代子	牧田栄子
安達裕見子	岸律子	田中典子	真嶋憲二
雨河一就	岸本照之	田山喜久雄	松岡京子
池田晴隆	久野芳治	谷口博文	松田弘子
石河ひろみ	小泉淳子	谷詰万寿子	松谷ボンブ(株)
石田文三	小幸本文男	玉木敏久	松原千恵子
伊谷周一	古荘信子	鶴見厚子	松村文雄
市川元子	小谷怜子	手皮小四郎	松本勲
市谷経哉	小橋東年子	寺坂昌昭	町田富司
井上裕子	小権田謙一	土井康稔	町田雅美
一丸藤太郎	権田友子	戸村誠	丸谷菊枝
入江太代子	(株)コト彦	鳥取白バラ乳販株式会社	三木康二
岩田兼商店	斎藤皓美	鳥取鶏卵販売株式会社	南田夏子
岩田弘美	坂井芙美子	豊福孝明	美波静枝
上岡啓吉	山陰合銀鳥取東支店	(株)トリベイ	宮脇知津
上野徳行	山陰酸素工業K.K	中尾旦昭	森原和子
奥北美津子	芹生琢也	中嶋哲一	盛田和朗
大沢美登利	柴田満妙	中谷志津枝	安田寿貴
岡村和代	清水工業所山陰支店	中村愛女	山田金庫
荻原正子	正林督章	永松房子	山根輝夫
尾崎誠太郎	杉村英子	西尾邑次	山本大淑
尾崎三智子	杉本淳子	(株)ニシ	山本秀樹
垣屋春枝	セイコーマートいぬい	林保夫	よねざわまこと
金田誠三	曾我修道	林敬二郎	和田知子
鍵谷清子	綜合印刷出版株式会社	浜本五十鈴	渡部寿枝
鍵谷井	大雲院地藏盆子供夜店一同	日立金属労働組合鳥取支部	若桜地区更生保護婦人会
河田瑛子	第一保育短期大学	福島庸二	無名氏
河本茂樹	伊達山好雄	福田実子	鳥取県保護司会
	竹本伸子	(有)堀鍍金工業所	鳥取第一分区一
	田中工業株式会社	正岡康弘	
	田中儀衛		

以上138件、総額2,123,705円の後援会費・寄付金が寄せられました。心より感謝申し上げます。

物品寄付者 (2001.6.1~11.30)

(敬称略)

氏名	氏名	氏名	氏名
秋崎 るり子	幸本 文男	中山 政一	森本 政司
井口 忠夫	近藤 房子	長戸 紀子	山中 徳正
上海 田務	坂出 尚久	日香 寺	山本 本
海藤 ひろみ	三友商事 岩永文彦	ハーパーライフ・オブ・ ジャパン株式会社	ヤマモト 運輸(株) 鳥取引越センター
浦木 清子	下石 洋子	花原	湯村 正仁
才ズ 鳥取 店	修立 小学校	ばれつと三田	吉岡 博己
川上 恵美	タイ・ジャパン・エルエルシー	藤井 実夫	吉田 信彦
川口 孝一	手皮 小四郎	前田 久留美	若桜地区更生保護婦人会
川下 寛之	鳥取市老人クラブ連合会	松田 悦子	清水 弘一
河本 りつ子	鳥取こども学園 駅伝部	三上 博子	
蔵本 美知子	中川 泰子	宮永 資子	



お知らせ

○社会福祉法人鳥取県共同募金会より、平成十二年度共同募金による平成十三年度配分事業で六三〇、〇〇〇円の配分金をいただきました。総事業費七〇五、〇〇〇円で厨房機器の取替事業を行い、消毒保管機一台、ガス回転釜一台を購入しました。

厨房では、毎食、約八〇食作っており、学園の食事は、豊富でおいしいと来客、実習生にも評価していただいています。

今後、子ども達の為に、少しでもおいしいものをと努力しています。ありがとうございました。

○希望館の各棟の老朽化により、雨もり等がひどく、なりましたので、希望館、宿泊棟、サービスク棟、体育館、屋上防水、外装改修工事を、九、五〇〇、〇〇〇円の予算で行うことになりました。十月十六日に入札して、設計監理は赤山建築設計事務所、施工は(株)竹中工務店で既に着工しております。完成は、十二月二十六日の予定となっております。

鳥取こども学園同窓会のご案内

恒例の、同窓会は、盆の八月十四日と正月の一月二日の夕方六時三〇分からです。学園の地域交流ホームでお待ちしております。忘れないで、お集りください。

「鳥取こども学園後援会」加入と会費納入のお願い

鳥取こども学園の事業は、言うまでもなく「民間社会事業」です。「制度」も何もないところから出発した創立当初の困難を想い、民間社会事業の先駆性・献身性を受け継ぎたいと思います。公的な制度と資金だけでは到底足りません。

「鳥取こども学園後援会」加入と会費納入をお願いします。

お陰様で、1981(S.56)年に借りた5千万円の借金の返済(毎年元金249万円×20年)が、完了しました。感謝! まだ毎年、元金188万円の返済が残っている他、更に今年は、「教育治療棟」建築や第1児童棟雨漏り修理などで3千万円の自己資金出費を見込んでいます。更なるご支援をお願いします。

1. 「鳥取こども学園後援会」へご入会下さい。
2. 地域、職域でできるだけ友人・知人に呼びかけて下さい。
3. 個人でも団体でも、会社や法人でも加入出来ます。
4. 年会費は、個人1口3,000円、団体・法人1口10,000円で、1口以上何口でも結構です。

会費・寄付金は下記へ

鳥取こども学園後援会事務局：〒680-0061 鳥取市立川町5-417 鳥取こども学園内
☎(0857)22-4206・21-9551 FAX23-0242

振込み口座名義：社会福祉法人鳥取こども学園 理事長 尾崎淑子

振込口座：郵便振替 01490-9-9106 山陰合同銀行鳥取営業部 普通 3422812
鳥取銀行本店 普通 7645611

お願い

この「学園だより」は、当法人にご理解、ご協力いただいている皆さまに、施設の様子やご寄付等を報告する意味で発行し、お送りしています。

同封しています寄付金・会費の振込み用紙は、あくまでも皆さまの便宜を考えたことです。

今後とも、当法人を温かく見守って下さいますよう、心よりお願い申し上げます。